

# 会議議事録

会議名	令和2年度 第2回教育課程編成委員会
開催日時	令和3年1月19日(火) 14:00~15:00
会場	中央工学校附属日本語学校 2F 図書室
参加者	<p>委員 坂本 敏、佐藤 洋子、渡来 純如、小澤 琢爾、齋藤 栄輝、 對馬由希子、笹井 利浩、溝口 健太(欠席:榎本 修、高橋 三行)</p> <p>陪席者 関野 格至、原 太一、佐久間恵子</p> <p style="text-align: right;">以上 11名</p>
会議録	<p>1. 開会挨拶 座長の坂本敏校長から開会の挨拶を行い、教育課程編成委員会が開会した。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症等への対策・対応(概要)説明 坂本校長から新型コロナウイルス感染症等への本校の対策・対応状況(概要)について説明があった。</p> <p>3. 愛玩動物看護師法施行に関する現況について 坂本校長から愛玩動物看護師法の確定情報等について説明があった。(配布資料参照)</p> <p>4. 令和3年度運営計画(案)について 坂本校長と佐藤洋子委員から令和3年度運営計画(案)の説明があった。(配布資料参照)</p> <p>(1) 令和3年度運営計画(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建学の目的と教育方針</li> <li>・ 令和3年度運営重点項目</li> <li>・ 運営指針</li> <li>・ 学生在籍推定数</li> <li>・ 教育指導内容及び教育運営の充実</li> <li>・ 広報計画等</li> <li>・ 就職指導体制</li> <li>・ 広報計画等</li> </ul>

## 5. 具体的検討

前回同様、今回もコロナ禍に対する各業界の対応状況の紹介含め、今後更に改善を要する案件や意見が挙げられた。主なものは次の通り。

### (1) 愛犬美容関連科（愛犬美容科・愛犬美容研究科）

- ・店舗、美容に関しては、新型コロナ感染拡大により、在宅勤務や外出自粛の影響で、生体の販売頭数が増え、販売価格も更に高騰してきており、犬猫を飼うには経済的な余裕も必要となってくると思われる。保管業としては、適正な飼養管理の基準が設けられるようになり、中・小規模ブリーダーの経営が逼迫してくる状況になりつつある。それに伴い、犬猫の販売頭数にも影響が出る懸念がある。
- ・コロナ禍の中の取り組みとして、顧客満足度を上げるため、Instagramを活用するなど、DX販促を推進している。
- ・スタッフの出勤体制などは、なるべく密にならないよう調整している。
- ・ゲージ等の規制により、今後、廃業するブリーダーが出てきた場合には、募集という形で譲渡の協力を行っていききたい。
- ・ゲージではなく、解放された大きな広場での販売に売り場を変えた店舗は、お客様に良い印象を与えることができ、販売頭数の増加にも繋がっている。
- ・店舗では、犬猫だけではなく、小動物やエキゾチックアニマルの販売にも力を入れ始めており、売り上げも緩やかに伸びてきている。
- ・ペットホテルに関しては、コロナ禍で、年末年始も皆無に近い状況であった。

### (2) 動物看護関連科（動物看護科・動物看護研究科）

- ・コロナにより、動物病院内の環境消毒など、プラスアルファの業務が増えたこともあり、スタッフの休息が取れるよう、診療時間を短縮し、長時間労働の改善にも努めた。また、コロナ感染対策として、スタッフを2チーム制で運営し、リスク回避を図っている。
- ・先々のことを見据えて早めに対応することが、スタッフの安心感にも繋がっていくと感じた。
- ・コロナをきっかけに、診察のWEB予約システムを導入した。それにより、ある程度の仕事のスケジュール管理ができるようになったことは、一つのメリットである。
- ・診療時間短縮等のコロナ対策は、飼い主の立場からは利便性が低くなったと思われ、来院数は前年比で減少したが、予約制にしたことにより、充実したサービスを提供することができ、1件当たりの単価と年間の売り上げは増加した。
- ・動物看護師においては、歯科やトリミング等、自分の得意分野、強み

をしっかりとって、飼い主に情報発信やサービスを提供できることが、今後益々必要となってくる。

- ・動物病院では、完全予約制を導入し、ホームページを一新、得意分野を明確に打ち出すことで、客単価を上げる戦略に変えた。
- ・動物看護師資格の国家資格化に伴い、本校の看護関連科2年制の卒業生が資格取得試験を受験するにあたり、学校側で卒業生用の窓口を設けることを検討していただきたい。  
⇒同窓会誌で状況報告を載せている。卒業生から学校への問い合わせについては、ホームページ上での情報提供および同窓会とも連携をし対応していきたい。

### (3) 動物共生関連科（動物共生研究科・動物共生総合科）

- ・これまで、小児科病棟、小学校、老人ホーム等で、動物とのふれあい活動等を行ってきたが、現在はコロナの影響で全く活動できない状況である。
- ・介在活動に近い活動として、唯一、コートハウズドッグ活動は行っている。
- ・介在そのものについての勉強会等については、オンライン聴講に留まざるを得ない状況である。コロナが収束してきたら、学生にも積極的に参加してもらいたい。  
⇒学校内の介在実習については、コロナ感染拡大の影響を受け、皆無の状況であった。今後は活動している現場をオンライン聴講等で見学する機会の模索を図っていきたい。

### (4) 各学科共通

- ・コロナ禍の中、ペット業界はそれぞれが創意工夫をしながらトータルの黒字を確保している。
- ・全体的には、コロナの影響で右往左往している部分もあり、まだ先の見えない状況ではあるが、「新しい教育スタイル」も含め、本日の各業界情報を参考に、接客等の教育もしっかりとしていきたい。

## 6. 次回委員会開催連絡

現在の委員は令和3年3月31日で任期満了に伴い、令和3年4月1日からの委員の選定、就任依頼を3月末までにする予定。

次回の委員会を、令和3年6月18日（火）14:00~15:00とする。詳細は後日連絡。

7. 閉会

座長の坂本敏校長から閉会の挨拶があり、教育課程編成委員会が閉会した。

【配布資料】

- ・教育課程編成委員会 令和2年度第2回委員会 議事次第
- ・令和3年度運営計画（案）
- ・教育課程編成委員会 令和2年度第1回委員会 会議議事録
- ・愛玩動物看護師法案関連資料

以上